





時間配分  
(目安)

① 導入（課題の説明） …… 5分

② はがき新聞の作り方説明 …… 5分  
作成例を見せる。

③ はがき新聞の制作 …… 30分

④ 振り返り …… 10分

交流は、ミテミテに入れて教室に掲示する。1週間鑑賞の時間を設けて1人5枚の付箋を渡して感想と名前を記入することを連絡する。早く出来た生徒は、グラフや表に色を付ける。全部のマスが埋められない生徒には、挿絵を書いて埋めるなどの声かけをする。

学びを広げるポイント

- ミテミテ（理想教育財団助成品）に入れて互いに感想を述べ合う。感想を読むことで、自分の理解との相違にも気がつく。図表の視点や、他の図表の考え方を特別版で読むことで学びにつながる道を意識させられる。

# 文章以外の「情報」を読み取ろう！

数学、理科、社会で、グラフを見たりグラフに記入したりすることがあるでしょう。また、進路を考える時にさまざまなグラフで検討することもあります。複数のグラフや文章の中の情報を関連付けながら読み解いてみましょう。



## はがき新聞の作り方



教材：「情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう」（光村図書）

- レイアウトの例を参考に、ペンと定規で枠の線を引きましょう。
- レイアウトの例を参考に図表をいれるところを囲みましょう。
- 新聞のタイトル（題字）を右横上に太めに書きましょう。  
(授業の中で決まっていなければ、自分で考えて付けましょう)
- 「発行者」(タイトルの下枠)に横書きで名前を書きましょう。
- 図表について調べたこと、分かったこと、考えたことをノートに簡単に書き出してみましょう。  
引用する場合は、引用元を枠外に書いておきましょう。  
※今回使う「図表」は手書きです。  
先にペンで書いておきましょう。  
(印刷物の場合も先に貼ってから書きましょう)

### 準備するもの

国語の教科書、ノート、鉛筆（下書き）、消しゴム、ボールペン（黒）、定規、彩色用のペンや色鉛筆など

### 情報を読む

## 有効な手段

### 新聞

新聞を読むのは、  
どうか聞いた質問の回  
答である。一番上がほ  
ぼ毎日読んでいる。一  
番下は、ほとんどか  
全く読んでいないとい  
うものである。  
新聞の言葉や文字は、  
難しいものが多く、読み  
進めにくい。まして、  
「読んでいる」と思合  
しても中身を聞いてい

新聞を読む頻度	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	算数
毎日1~3回 読んでいる	74.7	79.0	70.9	65.3
週に1~3回 読んでいる	71.9	76.6	70.5	64.4
月に1~3回 読んでいる	66.4	71.7	66.9	60.1
ほとんど 全く読まない	62.9	68.6	63.9	56.1

令和3年度 学力学習状況  
調査(文科系)  
新聞(関)読頻度と成績

このグラフを見ると、  
「毎日読んでいる」とい  
う人は、下のグラフに  
対しては、下のグラフ  
よりも、その可能性  
もある。それを知  
るには、新聞が有効  
だということである。

編集 後記  
このグラフを見ると、  
「毎日読んでいる」とい  
う人は、下のグラフに  
対しては、下のグラフ  
よりも、その可能性  
もある。それを知  
るには、新聞が有効  
だということである。

このグラフを見ると、  
「毎日読んでいる」とい  
う人は、下のグラフに  
対しては、下のグラフ  
よりも、その可能性  
もある。それを知  
るには、新聞が有効  
だということである。

→次のページに続きます。

レイアウトの例

6 最初の三行は空けましょう。(見出しの場所)

7 書くときは常体(「～だ」「～である」)で書きます。「いつ」「どこで」「なぜ」「どのように」「だれが」「どんな風に」など「5W1H」を意識して書いてみましょう。

8 編集後記(はがき新聞を作った感想)は50字程度です。

9 書けたら、必ず読み返す。誤字脱字、表現のおかしなところはないか確認する。句読点の多い少ないも確認する。(句点「。」は40字で1つくらい)

10 書き終えてから、見出しを考えましょう。

「見出し」は、何を書いたかという説明ではなく、この新聞に何が書かれているのか、を書きます。一番言いたいこと、驚いたこと、すごいこと、を書くのです。9文字以内で表しましょう。見出しを見ただけで、記事の内容が分かるような言葉を使います。「～です」「～だ」は使いません。「…」も使用しません。内容を書き終えた後で書きましょう。

11 時間があれば、枠の外側、題字、見出し、図表をカラーにしてみましょう。